

平成26年度 事業報告

《平成26年度事業報告》

1. 環境保全整備事業

(1) 植樹活動支援事業

- ・全国74ヶ所で約23千本植樹（累計で108万本）。
- ・市民グループ、NPO/NGO、地方自治体と連携し、また三菱東京UFJ銀行、三菱UFJ信託銀行、三菱UFJモルガンスタンレー証券の拠点の紹介を通じて、地域社会貢献として相応しい樹木寄贈案件を推進。
- ・寄贈対象分野は、水源・河川流域、及び学校、公園等公共施設を重視。

寄贈対象	件数	本数
福祉施設	8ヶ所	741本
公園・広場	16ヶ所	6,189本
学校 (うちビオトープ)	25ヶ所 (5ヶ所)	2,543本 (60本)
水源・河川流域	9ヶ所	7,560本
里山保全	7ヶ所	2,865本
病院・その他公共	9ヶ所	3,171本
合計	74ヶ所	23,069本

- ・地方自治体・市民団体との連携：51件、約21千本。

○中長期大口案件：

北海道「虹別コロカムイの会」、宮城県「牡蠣の森を慕う会」「仙台市・しいたけの森づくり事業」、栃木県「足尾に緑を育てる会」、「日本ボーイスカウト栃木県連盟」、神奈川県「丹沢の緑を育む集い実行委員会」愛知県「どんぐり交流会植樹祭」「みどりのまちづくりグループ」、京都市「小倉山森林再生事業」、大阪府「共生の森づくり」「四条畷市生駒山系花屏風五ヶ年計画」、広島県「県立もみのき森林公園植樹祭」等。

○東日本大震災復旧支援案件：

青森県「海岸防災林復興植樹事業」、被災3県「被災学校3校向け植樹事業」

(2) 学校ビオトープづくり支援事業

- ・関西、東海、関東で専門指導員を擁する団体（大阪自然環境保全協会、ビオトープ・ネットワーク中部、埼玉県生態系保護協会）と提携し以下の学校で実施。
- ・埼玉県／さいたま市立海老沼小学校、川越市立富士見小学校、川口市立柳崎小学校、愛知県名古屋市／市立西山台幼稚園、(社福) 中日会エンジェル幼稚園、大阪府門真市／(社福) 小百合苑柳町園 の6校（累計で113校）。

(3) 里山保全支援事業

- ・継続支援先：成田市「北総里山倶楽部」（平成26年度～28年度）
- ・新規支援先：西東京市「西原自然公園を育成する会」（同上）

○現在の支援先合計7ヶ所：成田市「北総里山倶楽部」（年度活動回数30回／1回当たり参加人数

10名)、岡崎市「おかざき自然体験の森・きこりの会」(最終年度、24回/13名)、大阪府島本町「NPO法人 島本森のクラブ」(最終年度、24回/17名)、四日市市「保々の自然に親しむ会」(最終年度、26回/12名)、枚方市「枚方里山の会・穂谷」(42回/13名)、埼玉県狭山市「水野の森里山の会」(18回/22名)、西東京市「西原自然公園を育成する会」(28回/13名)

2. 環境教育事業

(1) 「みどりの絵コンクール」の開催

- ・第39回「みどりの絵コンクール」は、「みどりの絵」「わたしが守りたい身近な自然」の両部門に全国から2万4,718点の応募あり(累計約129万点)。
- ・一次審査(10/10)、本審査(10/27)を経て、環境大臣賞を含む最優秀賞9点、優秀賞36点、入選413点を選定。東京で最優秀賞受賞者9名とその家族が出席して表彰式を開催(12/6)。

○入賞作品の展示状況

- ・12月の表彰式に合わせて、毎日新聞全国紙や毎日小学生新聞に最優秀賞9点を掲載。また、三菱東京UFJ銀行ホームページ上に最優秀賞9点及び優秀賞作品36点を展示。
- ・新宿御苑インフォメーションセンター内アートギャラリーで8日間(4/29~5/6)、第38回最優秀作品、関東地区(東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県)の優秀作品及び入選作品を展示。
- ・三菱東京UFJ銀行の営業拠点を活用した第38回入賞作品の展示。
~大阪営業部(8/4~8/15)、名古屋営業部(8/4~8/15)、

(2) 大学向け寄附講座の開催

- ・神戸大学にて「ESD(持続可能な社会づくり)ーアクション・リサーチを通じた環境学習」の最終年度(3年目)講座開催。半期2単位で前期後期合計受講者数約300名、年間30講義実施。併せて、ESD、公害問題などをテーマに一般市民も参加できる公開講座7回開催。

(3) 地球環境問題映画会の開催

- ・名古屋市科学館にて「第21回生きている地球の記録」映画会開催(7/27)。「グリーンイメージ国際環境映像祭2014」の入賞作品7本を無料上映し、201名が来場。
- ・毎日新聞大阪本社ビル・オーバルホールでも、第2回大阪映画会開催(8/31)。入賞作品6本を無料上映し142名が来場。

(4) 啓発図書の発行

○新規発行

- ・「東京の環境指標種100」を5千部発行。特定資産(啓発図書改訂増刷準備金)6.5百万円を取崩して対応。うち4千部を上限に、東京都環境局を通じて、都内の小・中学校及び公立図書館や東京都環境局開催の環境関連リーダー養成講座等に提供。

○既存図書提供

- ・「樹の本」等の図鑑シリーズ6,093冊、中部関連ガイドブック1,378冊を提供。
- ・木のミニ診断カルテを活用した樹木教室:大阪自然環境保全協会主催/大阪自然環境市民大学・自然観察インストラクター養成講座等6回/160冊提供。
- ・「環境指標種100」活用:大阪自然環境保全協会主催のリーダー養成関連講座125冊提供。

3. 体験活動事業

(1) **水源の森事業**～ 公益的機能を重視した市民参画型の森づくり

- ・平成26年度6回開催、延べ参加者279名。参加者層に合った各種プログラム内容（林業体験、自然観察会、沢のぼり体験等）を提供。うち2回が子供向けの体験学習イベント。
- ・平成23年7月末の新潟・福島集中豪雨による「水源の森」崩落箇所については、利根沼田森林管理署による復旧治山工事が開始され、沢のコンクリート谷止工事が完了。
- ・オープン以来18年経過。開催イベント数累計149回、延べ参加者累計8,371名。

(2) **東海地区3県みどりの少年団「サマージャンボリー」の開催**

- ・第39回サマージャンボリーを、国土緑化推進機構、愛知・三重・岐阜3県の緑化推進委員会及び協会との共催で、愛知県新城市「愛知県民の森」で開催、参加者110名。
- ・2泊3日(8/6～8)で、森のお話（講和）、森林整備地見学、丸太切り体験、水遊び等。

4. その他

(1) **「反社会的勢力に対する基本方針」に基づく反社会的勢力チェック実施**

- ・平成26年4月からの三菱東京UFJ銀行による「反社会的勢力」情報の提供に伴い、各事業に係る申込受付時や経費支払時には、この基本方針や対応マニュアルに基づき、必ず反社会的勢力チェックを実施しているもの。

なお、平成26年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しないものとします。

以上